

家族の構造と転換

日本の家族の過去・現在・未来を考える

【事前課題】

次の言説を 200 字程度で批判しなさい。

「日本では戦前まで、封建的・前近代的な「家」制度（男系の家督相続・戸主権・男尊女卑など）が根強く残っていた。

戦後、日本の家族もかなりの程度、近代化・民主化され、個人の尊厳および両性の平等に基づく家族制度が法的に確立された。ただし実際には、戦後の日本社会には、封建的・前近代的な男尊女卑等の制度・慣習が依然として一部に残っている。たとえば夫婦同姓の法的な強制、仕事と家事・育児・介護をめぐる性別役割分業などはその具体例である。

今後、このような前近代的な制度・慣習は次第に払拭され、選択的な夫婦別姓制度の導入、および男女共同参画（女性の職場進出、男性の家事参加）が進んでいくであろう。」